



日本銀行金融研究所  
Institute for Monetary and Economic Studies,  
Bank of Japan

# 金研ニュースレター

特別号 新型コロナウイルス感染症の経済学(1) 2020年5月

金融研究所 (Institute for Monetary and Economic Studies, IMES) は、1982年10月に日本銀行創立100周年を記念して、日本銀行の内部組織の1つとして設立されました。金融研究所は、金融経済の理論、制度、歴史に関する研究を行っているほか、金融経済に関する歴史的資料の収集・保存・公開を行っています。

## ハイライト

### 海外研究機関の取り組み

「金研ニュースレター」は、日本銀行金融研究所が主催するイベントなどを、幅広い読者を対象に、タイムリーにお知らせすることを通じて、金融研究所の活動を紹介することを目的としています。

### 海外研究機関の取り組み

金研ニュースレター特別号「新型コロナウイルス感染症の経済学」シリーズは、金融研究所におけるイベントなどを紹介する通常の金研ニュースレターとは異なり、金融研究所員が同感染症に関する経済学的な研究を幅広い読者を対象に解説するものです。なお、本稿の内容と意見は日本銀行あるいは金融研究所の公式見解を示すものではありません。本稿記載の情報は文末にある執筆時点のものです。

新型コロナウイルスとの闘いに世界中の人々が巻き込まれている。闘いのフロントラインにたつ医療関係者では、感染拡大の危機を訴える Imperial College London のレポートのように疫学者たちの活躍も目立つ<sup>i</sup>。

エコノミストたちも例外ではない。感染拡大に伴い世界経済が予想だにできなかったような危機的な状況に陥る中、スペイン風邪など過去の感染拡大から何が学べるのか、感染拡大によって経済がどの程度落ち込むことになるのか、今回の経済危機はそもそも経済理論的にどう整理したらよいのか、そして、どのような政策措置が望まれるのか、すでにおびただしい数の分析が出始めている。

本稿では、そうしたエコノミストたちの情報発信を支える海外の研究機関の活動を紹介したい。興味をもたれた読者は、実際に併記されている URL を使って、それぞれのサイトにアクセスしていただければと思う。

- 欧州のシンクタンクである Centre for Economic Policy Research (CEPR) が運営するブログである VOXEU では、日々、著名エコノミストの新型コロナウイルスに関するエントリーがあり、そのためのページも立ち上げている (<https://voxeu.org/pages/covid-19-page>)。特筆すべきことに、ブランチャードやクルーグマンといった著名経済学者も寄稿するかたちで、すでに 2 冊のオンライン・ブックをまとめている。
- CEPR の米国のカウンターパートにあたる National Bureau of Economic Research (NBER) も、NBER Working Paper のうち、新型コロナウイルスに関係するものを取りまとめたページを立ち上げている ([https://www.nber.org/wp\\_covid19.html](https://www.nber.org/wp_covid19.html))。また、米国経済学会のウェブサイトでも紹介されているように、University College London と Institute for International Economic Studies (スウェーデンの研究機関) は共催で、ほぼ連日のようにオンライン・セミナーを開催しており (<https://sites.google.com/view/virtualmacro/home>)、ブルネルマイヤーといった著名学者も登壇の予定にある。個々の研究者が Discussion Paper 等を任意に掲載できる SSRN のサイトでは、新型コロナウイルス関係でどの論文が多くダウンロードされているのかについてランキングを日々更新しており、参考になる ([https://papers.ssrn.com/sol3/JELJOUR\\_Results.cfm?form\\_name=journalBrowse&journal\\_id=3526437](https://papers.ssrn.com/sol3/JELJOUR_Results.cfm?form_name=journalBrowse&journal_id=3526437))。
- そしてさらにアジアのカウンターパートである Asian Bureau of Finance and Economic Research (ABFER、シンガポール拠点) も特集ページを作成している (<http://abfer.org/events/2020-pandemic>)。
- 個別大学でも、シカゴ大学 (<http://www.igmchicago.org/covid-19/>) やイェール大学 (<https://som.yale.edu/faculty-research-centers/centers-initiatives/program-on-financial-stability/covid-19-crisis>) には、すでに新型コロナウイルスのページが設けられている。
- 中央銀行では、ニューヨーク連邦準備銀行のブログである Liberty Street が、新型コロナウイルスのエントリーを多数掲載している (<https://libertystreeteconomics.newyorkfed.org/>)。
- なお、日本では日本経済研究センターが「コロナ危機と闘う」というオンライン・セミナーを公開している ([https://www.jcer.or.jp/policy-proposals/fighting\\_the\\_covid-19\\_crisis](https://www.jcer.or.jp/policy-proposals/fighting_the_covid-19_crisis))。

(執筆時点: 4 月 14 日)

---

<sup>i</sup> 例えば、Walker, Patrick G.T., Charles Whittaker, et al. (2020) “The Global Impact of COVID-19 and Strategies

for Mitigation and Suppression.”

<https://www.imperial.ac.uk/mrc-global-infectious-disease-analysis/covid-19/report-12-global-impact-covid-19/>

金研ニュースレター 2020年5月

※本誌に関する照会は、日本銀行金融研究所までお寄せください。

無断での転載・複製はご遠慮ください。

日本銀行金融研究所 (IMES)

〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町 2-1-1

TEL: 03-3279-1111 (大代表)

FAX: 03-3510-1265

E-mail: imes.journals-info@boj.or.jp

ホームページ: <https://www.imes.boj.or.jp/index.html>